

即席卿療治

九年坊作
栄昌軒
三冊

寛政十年



176
2985

2985

特

2946
176

昭和九年
七月二日
晴

毎日寅巻の如くをいへば城の
てはさうして惟だ脚の痛し
るなりと眼のさきも勝り
てハ鐵力主と見るも其の
元氣の系鬚相持の伊定と
我の自五五の片やうに
る所の四方も其の現さ
成煙く以てちちちちち
者をつふふふふ

午、早春

北窓

壁前

禽獸
虫魚
其外非常
之物療治
法好

[illegible][illegible]

邱席江隱居

張
氏
院
畧



神を祀りてありたる所から
我馬のいあらぬが判
せんをりちぬきい
アませさしつめ
子の力くはれを
ひたりののりこ
あるは何を
もあひ
きう
せう
やう
やを
なる
か

ちてさきやうに大それたことをなすは
 てもうひさびさのすのひまもある
 今いひさうでいふとまことにすのひまの
 うらやまをかくかくあまいあまい
 まさしくいふひまも
 ちてさきやうに大それたことをなすは
 てもうひさびさのすのひまもある
 今いひさうでいふとまことにすのひまの
 うらやまをかくかくあまいあまい
 まさしくいふひまも



ちてさきやうに大それたことをなすは
 てもうひさびさのすのひまもある
 今いひさうでいふとまことにすのひまの
 うらやまをかくかくあまいあまい
 まさしくいふひまも

ちてさきやうに大それたことをなすは
 てもうひさびさのすのひまもある
 今いひさうでいふとまことにすのひまの
 うらやまをかくかくあまいあまい
 まさしくいふひまも



ちてさきやうに大それたことをなすは
 てもうひさびさのすのひまもある
 今いひさうでいふとまことにすのひまの
 うらやまをかくかくあまいあまい
 まさしくいふひまも

ちてさきやうに大それたことをなすは
 てもうひさびさのすのひまもある
 今いひさうでいふとまことにすのひまの
 うらやまをかくかくあまいあまい
 まさしくいふひまも



ちてさきやうに大それたことをなすは
 てもうひさびさのすのひまもある
 今いひさうでいふとまことにすのひまの
 うらやまをかくかくあまいあまい
 まさしくいふひまも

いかゞいふやうにむさうせういふらるゝあゝのき
 うてりんせんは市をさしきくやういふきのみ
 けいんかんさびやうやだの
 このかゝるがまじりやうのき
 だくさうのき
 いかゞいふやうにむさうせういふらるゝあゝのき
 うてりんせんは市をさしきくやういふきのみ
 けいんかんさびやうやだの
 このかゝるがまじりやうのき
 だくさうのき



いかゞいふやうにむさうせういふらるゝあゝのき
 うてりんせんは市をさしきくやういふきのみ
 けいんかんさびやうやだの
 このかゝるがまじりやうのき
 だくさうのき





おれもつてゐの
こゝろ
たいてつ
ひのや
まいハ
るめ子

お目をおいて
おやアグれ
のときりや
おさひ
おろて
おつらぐ
くらぶま
たうら
そのか
おやツ
ゆうは
大こ
おろて
はら
れ



さうぢうのうぢうで

小土をすへ

ちやづり

三

たまりの
とろろ餅

とろとろハ
まろをちのさーづ

五、^{「ひんが」}ひんが^{「うた」}うた

已過今月十日

ふえんてつばよ

そと
やア

今迄のまゝ

まてけい

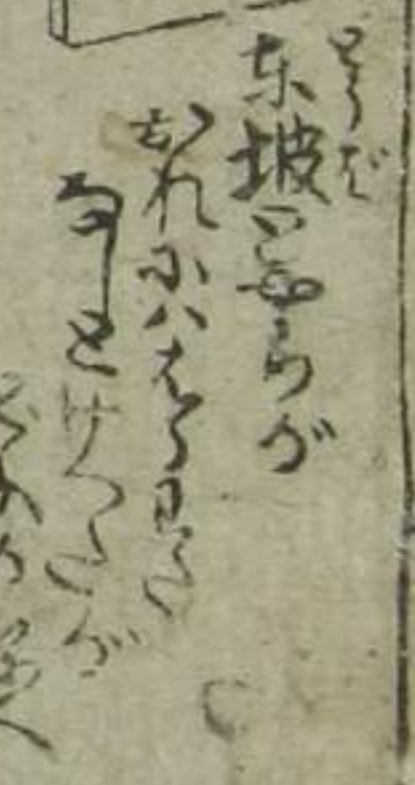
三十一
世にやうの

利

ちうアといふの水で
そつと男バア



秋夕 白露 蟬鳴 松風 露下 螢飛 池草 寒生



7
 形あるものを
 みるむ
 ことハ



「めりあ」
「オランダ」
「の」
「つ」
「た」
「一」
「り」
「二」

みづをうのまどまはスー
さういふなでうらたよのせ
やうまのせせうぎやう
さういふもつや

ザロメ

さききためり

まゝくまゝ
さます人
のあ
ま

[illegible]

かねゆちまこく
やまて あらうを
がふうふうでい
いやまわく でふるん
またよ んでそのの
ろんであつむ あんきぬその
アムンびさう あひなんふようぶはふりおはるん



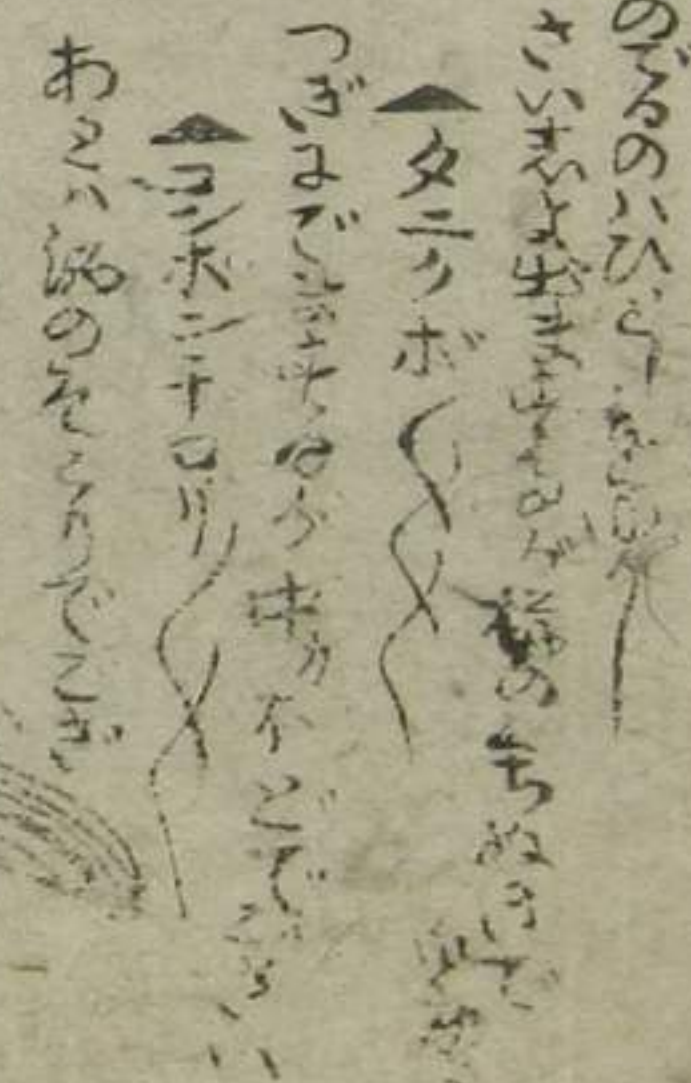
[illegible]

ぶつちゅうが
ぶくまう
大やあまの福く

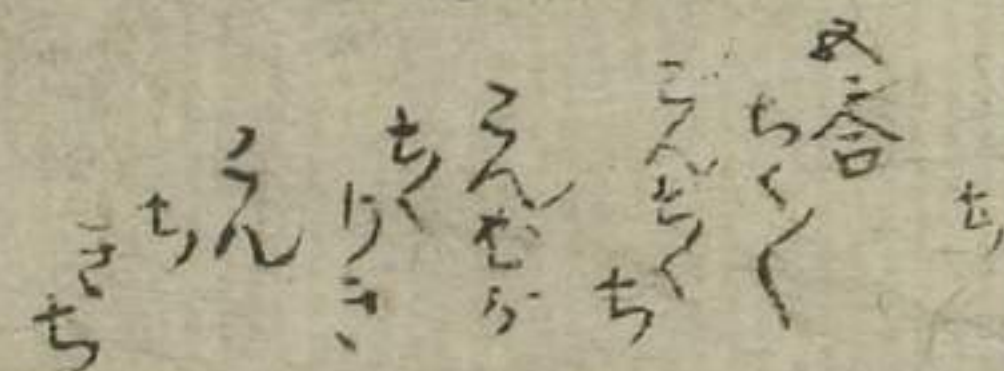
一ふらあゝゝ 二代をうてひして
がまいあまれさせ

ちゅうめいせきいんげん
くらうはきてかせい出て
しかはにふくををる
小僧よめいけい ながりる

「え、トヤア 福か
けんびも
かれぬア
多
多
多」



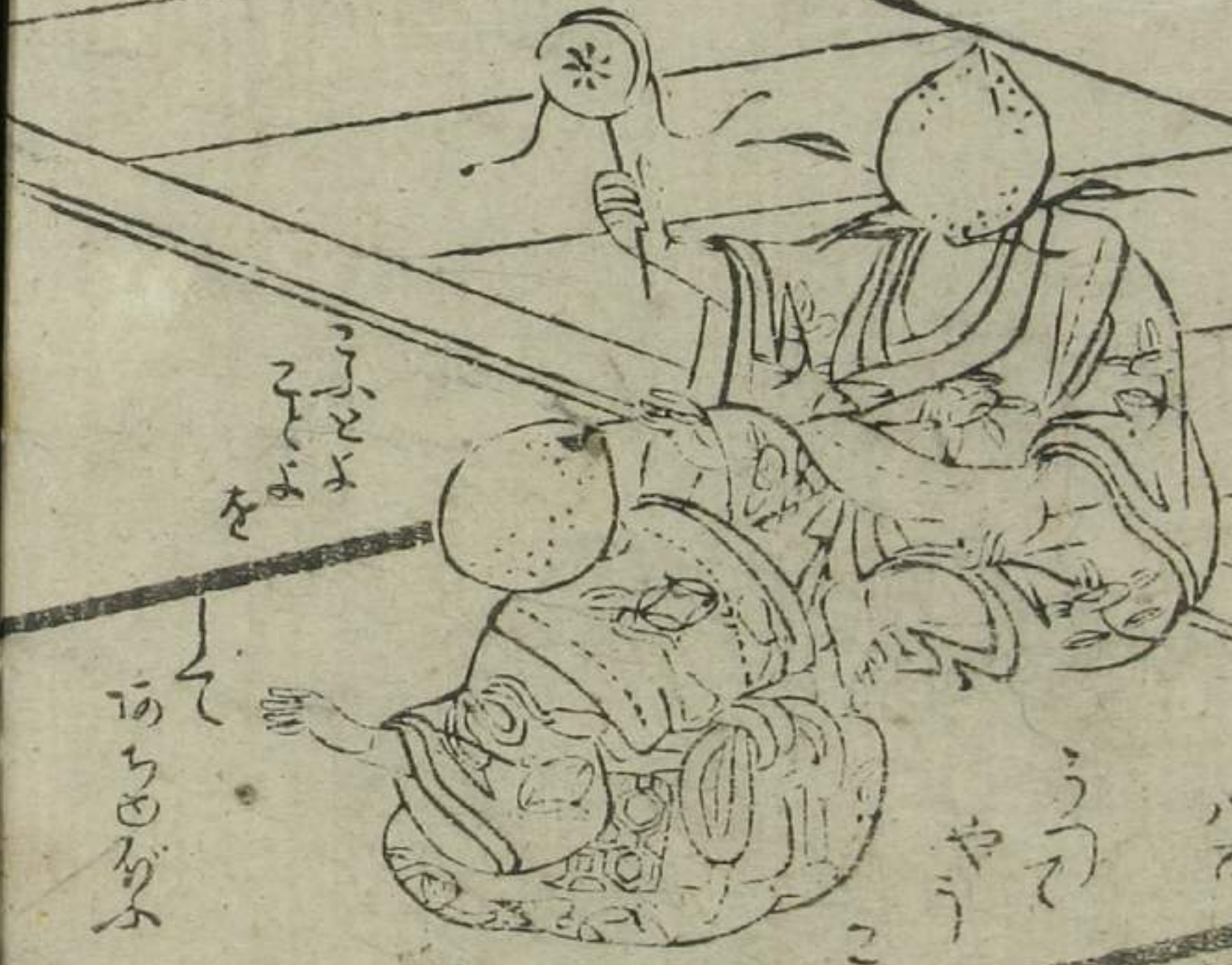
い
うちでい
てさる
く、
えきこ
まゝ
この
あめ



東もあまい
 かびである
 コシクチキ
 コシキチ

つれづれに筆を止すと云ふは
かゝる書をなすにはあきらむべき
ことなり。わが書は、
これハおもしろきことを
ありて三つある人々の打
といたをせんといふものなり。
とりとていふも、ちよと
おもひまへり。いかに
かゝるついでに、
さうでハまる。

子子子子



いづつ
かど
ハる
うわ
やう
こ
と
ヤ
はる
さん
の
ち
い

子ぎん
 まちへ
 ちへ
 たこのつら
 とい火入の
 まを
 か
 せんへ
 を
 ま
 るじて
 くの
 ぐむ
 ち
 を
 ち
 へ



らうこく
ちんぐりきを
なるち
きりせ
ふ

「ふさふさの
きうきう
ちやうど
ふさふさ
でふさふ
さ」

れれまゝに
 れをまづめまゝ
 かんまゝに
 ぢぢちハかへくきいもけあへんが
 かくやアゝゝゝあるそればかり
 ゐいづもそのをいづのさ

アゝ水があびたい
 こけがかり
 こけかり
 うごまハ
 こけかり
 どの
 ドア



九年坊



不昌圖

